

# 筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成 27年 6月 26日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	東邦大学理学部生物学科の学部2年生と対象とした野外生態学実習I					
利用 期間	自 平成 27年6月 22日 ~ 至 平成 27年6月25日					
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	1	2	34		
うち 受講者	人 数			34		
<p>1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。</p> <p>日本の生物相が豊かな要因の1つとして「人間による自然の持続的かつ賢明な利用」があったということをふまえて、半自然草原の重要性や、人の介入による植生への効果について学ぶ。 根子岳登山では半自然草原と自然草原の違いや、標高傾度に伴う植生変化について学ぶ。</p> <p>2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）</p> <p>各班が自分達の取ったデータをまとめて発表してもらったが、人の利用が植生に与える影響について学んでもらえた。 根子岳登山では、疲労困憊している学生も多かったが、フィールド調査の大変さや醍醐味を味わってもらえたと期待したい。</p> <p>3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。</p> <p>宿泊場所、フィールド、実験室が隣接しているので、大変便利です。また人為操作が植生に及ぼす効果や植生遷移を考えるうえで最適の場だと思えます。根子岳登山の日にはマイクロバスを出して頂いたおかげで、フィールドにもバリエーションを付けられて、実習内容を計画するうえで大変助かりました。</p> <p>4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。</p>						

担当教員 下野 綾子

所 属 東邦大学 理学部 生物学科

職 名 講師

当センターでは、ホームページ等で実習等の成果報告を行っています。  
ホームページ上での掲載可能な写真を、コメントと共に頂けませんか？  
皆さんの充実した実習等の報告をお待ちしております。

(以下のスペースに自由に写真をはりつけ、コメントをつけてください。)

菅平高原実験センターの半自然草原について解説する田中先生



半自然草原で刈取り中



根子岳で解説する田中先生と小黑TA

